

## 令和5年度あきる野市スポーツ推進審議会（第2回）議事要旨

開催日時 令和6年2月14日（火）午後7時～9時

開催場所 あきる野市役所 5階 505会議室

出席者 江川委員、吉田委員、町田委員、金網委員、菱田委員、伊東委員  
高岸委員、森本(幸)委員、森本(久)委員、田中委員

事務局 遠藤生涯学習担当部長、一瀬スポーツ推進課長、小林スポーツ推進係長、  
スポーツ推進係 寺島

- 1 開 会 一瀬スポーツ推進課長
- 2 挨拶 江川会長、遠藤生涯学習担当部長

### 3 議 題

#### (1) 部活動の地域移行について

(会長) それでは議題1部活動の地域移行について、事務局より説明をお願いします。

(事務局) 「あきる野市部活動地域移行」について、事務局から資料に基づき説明。

(会長) 質問だけではなく確認でも結構です。部活動に関してご発言いただければと思います。

(委員) 平日と休日の指導者が異なる場合の引継ぎや地域に完全に移行後はどのようになりますか。

(事務局) 今のところ、休日の部活動について動いており、平日についても将来的には地域移行するといったことも議論されていますが、国や都の動向を見ながら進めることとなります。指導者の質や人員の確保、財源等さまざまな課題を認識しています。

(委員) 予算の内訳はどのようになりますか。

(事務局) 予算については、今後、議会の審議を経て決定していくこととなりますが、指導員の謝礼は部活動指導員の単価を参考に部活動ガイドラインに沿って3時間とすると1回5,000円程度、コーディネーターについては、週2回程度を想定しております。

(委員) 柔道に関しては、中体連主催大会への参加は、各学校単位からクラブや連盟でも参加できるように昨年から変更されましたが、手順が煩雑なため、市柔道連盟では従来どおり各学校の校長に依頼して、各学校名で中体連登録をしています。通常の練習は夜8時から連盟で行い、大会時は中学校名で出場となります。現状はこのようになっており、部活動の地域移行というイメージが全く湧かない状況です。指導者については、連盟内に有資格者が6名しかいません。その6名を派遣して欲しいとなると、予定を合わせるなど難しい面があります。

(事務局) 指導者資格については、日本スポーツ協会や各競技団体が1日で取得できるスタートコーチについても拡充している状況です。

(事務局) 競技によって異なりますが、個人の場合は中体連登録をしやすい面もありますが、団体では難しい点があります。

(会長) 大会への参加や練習場所、希望する種目がないなど様々な課題があるのではないかと思います。長い目で見たときに、市内の指導者として次の育成に携わってもらうことを考えると、今の議論は事例として、柔道でも先程のようなことがありますし、この審議会でも部活動については以前から取り上げていて、ようやくこれからスタートするということにきているので、上手くいくと良いと思っています。

(委員) 今まで部活動の地域連携については検討してきた経緯がありますが、一番難しいのは、経費の面や地域の人々の協力によって達成できるかということだと思います。地域の人材がどれほど存在するのかを考えたときに、スポーツ協会等の実際、指導されている方を活用していきながら、達成していくという道筋は間違っていないと思います。ただ、大事なことは、土日の指導者と平日の指導者が存在することで子どもたちの捉え方を大事にしながら移行して欲しいと思います。スポーツ協会で現在、派遣している過程がありますが、それ以外はこれからだと思しますので、協会としての準備、指導者の育成などが課題となってきますので、それを念頭に置きながら進めたいと思います。一点質問がありまして、コーディネーターを配置するとありますが、資格要件などは考えていますか。

(事務局) まずは、スポーツに熱意のある方が大前提です。コーディネーターの資格については明確になっていないところがありますので、他の事例も見ながら進めていきたいと考えております。

(会長) あきる野版の地域部活という提案に対して、施設や人材、ノウハウを含めて盤石というわけではないと思います。学校の名前で大会に出場することも子どもの視線では大事なことだと思います。地域版になったときにあきる野市の代表として出場することが今までなかったと思うので、そこが新しい提案の一つになるかだと思います。種目についてもスポーツも文化も一緒なので、人材をどこに求めるのか、そういう観点で進めていければ良いと思います。受け皿となるスポーツ協会はいかがですか。

(副会長) スポーツ協会としても安全面などさまざまな面で不安はあります。しかしながら、中学校の部活動について色々な問題があり、地域も一緒にしていこうという意思確認を行いました。そこでまず、スタートをすることで、課題や良いことも見えてくると思います。場合によっては修正しながら進めていくことになると思います。行政も協力し、部活動を子どもたちのために一生懸命やることを大前提に不安もありますが、地域移行を進めていきたいと思っています。

(会長) 受け皿として総合型地域スポーツクラブというお話がありましたが、いかがでしょうか。

(委員) 部活動の問題に関しては、約10年前から国が検討を始めており、今の部活動の環境が良くないという研究結果が出ています。そこを改善することも大事な課題の一つとして、部活動の地域移行とか改革とかガイドラインの設置がありましたが、教員の働き方改革が優先されて、国が出している研究結果の本質を忘れられている気がします。地域移行ではなく、地域連携というものには残念な気持ちがあります。ただ、いざ開始するとなると大変なことだと思います。そういう意味では地域連携からというのは総合型地域スポーツクラブが携わっても同じ結果になると思います。この8年ほどは総合型地域スポーツクラブも受け皿の一つだと当初から言われていましたが、コロナもあり、クラブとして縮小してしまったので、今は総合型地域スポーツクラブとして何もできないというのが正直なところだと思います。逆に中学生を受け入れるプログラムを増やして、それが地域移行の一つの受け皿になるといいというビジョンを持ってやっていたのですが、スピードに追いついていなくて、できることを探しながらそれが市

にとって連携になるといいと今は考えています。

(委員) 土日からスタートするとありましたが、平日をどうするのか、指導者をどう確保するのかということが気になりました。指導者の雇用の関係もあるため、様々な課題があると感じました。今後、どのように進んでいくのかを見ながら、当クラブでできることを検討し、できる限り協力できる体制をとっていきたいと考えています。

(委員) 地域の小学生チームで活動し、中学生では部活動という流れでしたが、その小学生チームが減ってきており、子どもも減ってきています。また、中学校の教員は異動があり、異動すると誰が指導するのかという課題が出てきます。これは、スポーツ少年団も抱えている課題です。そこを少年団などが何とかできれば、それこそ、部活ではなくて、スポーツ協会、スポーツ少年団でしっかり教えた子どもたちがその部活の代わりになると思います。

(会長) 今回の議題は中学の部活動がテーマで、この審議会では、あまり学校の活動には関わってこなかったところがあり、むしろ受け皿として連携するパートナーとしての地域側のことを審議していました。今回の提案は、中学校の部活動をどうするかという話であり、地域移行よりも地域連携ということの方が、私たちの感覚には近く、外部指導員や教員の負担とか働き方ということよりも、生徒や地域で子どもたちが活動しているという視点の方が、今の意見で言えば、学校の中に柔道部がなくなるけれども、市内で柔道をやっている子どもたちはいるというようなことのほうがしっくりきます。学校の立場からはどう思いますか。

(委員) 部活動改革については、議論の中で、働き方改革が大きく取り上げられています。その中でやる人や組織が増えると、相談したり、打ち合わせをしたり、やり方など、必ずしも教員の時間が減るだけではすまない部分があります。ただ、議論をしていけば、子どもたちにつけてあげたい能力や教員が持っている専門性のスキルが形ばかりではなく、地域の方に力を貸してもらったり、指導していただくという中で、子どもたちにつけていただきたい能力がついていくという部分はあると思うので、それらを大切にしながら連携し、行いながら調整していくしかないかと思います。

(会長) あきる野版地域部活移行については、これからまず実施してみるということだと思いますので、これから色々な経験を積んで、修正をかけたりにしていくことも含めて、まず、審議会としても、見守っていく立場だと思います。それから情報提供や実際に協力していくなど、そういったことも担っていくことになると思います。

(委員) 部活動指導員や部活動指導員の補助が何名かについていると思うのですが、その方たちが指導に当たることは難しいことなのでしょうか。

(事務局) 部活動指導員や部活動指導補助員の方々には地域指導員としても入っていただき、その後、輪を広げられればと思っています。

(委員) 例えば、部活動に参加している生徒の保護者であったりすることはありますか。

(事務局) そのケースはあるかと思いますが、専門的にやっていて、この人なら任せられるというケースはあるのではないかと思います。

(委員) 今話があった中で、市内中学校の卓球部では、教員は、全くの素人からスタートしていて、外部指導員として来ている方がかなりできる方で、その方々のおかげで上手く回っているという感じがしました。結果が出ており、達成感もあって良いと思います。また、市内の小学校の児童が私立の中学校を志望していたが、そのまま市内の中学校に進学し、地域の中でやりたいことをやりながら、学校生活を過ごしています。地域の人はもちろん大変なことが多いと思いますが、また子どもたちの保護者も感謝しなければいけないと思いますが、今の外部指導者の方のやり方として良い事例かと

思います。

(会長) いい事例は共有していけると良いと思います。1月に、この協議会が立ち上がり、3月のプロセスを経て、来年度、スタートしていると思いますので、また次の審議会以降でも、近場でこのような現場や見る機会があれば、お話があると思います。それから、今話題に出たコーディネーターを、スポーツ協会の中で行うという形で人材育成していくということも、この審議会ではとても大事なことです。プレイヤーとして、子どもたちが育っていくというところでは、次に指導員として地域貢献するみたいな中間的なことと考えているということですから、長い目で、また、利用していくといいかと思います。

## (2) 市民プール屋外水泳場の活用について

(会長) 市民プール屋外水泳場の活用について、事務局より説明をお願いします。

(事務局) 市民プール屋外水泳場の活用について、事務局から資料に基づき説明。

(会長) ご意見いかがですか。今まで市民が夏休みに楽しんでいた場所をどうするのかという意味を含めて検討することになると思います。

(委員) 市として方針はないのでしょうか。

(事務局) 決まっています。

(委員) 子どもが体を動かせるところがあるといいと思っています。例えば、アスレチックの施設など、市民プールの付近の公園と連携した施設になったりすると良いかと思います。

(会長) この時期に審議会で、このような話題が取り上げられていることで、意見が出ることが望ましいと思います。

(委員) 市民プールの指定管理者から提案や意見等はないですか。

(事務局) 今のところ意見等は聞いておりません。

(事務局) 今年度、ファインプラザを活用して、学校のプール授業を一部実施しました。来年度は、一部学校のプールに不具合が出てきているようで、市民プールを活用して、授業を試行で行ってみることになっています。休館日と利用の少ない午前中などを活用して進めていこうというところです。これから予算を審議するところで、今後具体的にになっていきます。

(会長) 施設をうまく使うというようなアイデアとしては、市の施設からすれば、利用率が上昇しますし、学校からすれば気持ちよく受け入れられるということになります。

(委員) プールについては、今、環境問題の関係で、暑すぎて入りたくても入れないということになっています。屋外施設をあと利用するのであれば、学校体育館の貸出しとして、利用が増加してきているため、ニュースポーツや障がい者スポーツを行える箱を作ることも、体育館があるので難しいが、良いかと思います。

(会長) 多くの市民が利用している数少ない施設を廃止するという決断をしたわけですが、土地ということでは残りますから、今後どういう施設にするかということについては色々な視点で変わってきているので、新しい形に対応できるようにしていくという限られた中で何を作っていくのかということが大事になると思います。

(委員) 今でも小学生の授業の中で、水泳はあるのですか。

(委員) 小学生も年間約10時間行っています。

(会長) これだけ自然環境が豊かで、川のある自治体なのに、プールがないという理由だけで泳げない子をつくっていいのかということ、スポーツ全体として見たときに、水泳という視点というのはいないです。そのため、環境があるのに生かしていないという

ことなのか、それともそのような環境を生かせるようなことも、これから作っていくには、そういう通年でプールのように活用していくかということも、提案できるのかと思います。

(委員) 屋外のプールのことで、今の施設そのものを変えて作るというのは非常に難しいかと思います。ただ体育施設そのものが、どういう形として活用していくか市全体として考えて、体育施設として、あるといい施設にするという観点が必要だという気がします。市の内部で検討されて、スポーツ施設ではない施設になってしまう可能性が高いという気がします。基本的には今あきる野市として、望ましいような施設を想定して、あと利用していけたらと思います。

(会長) 前段の部活動の地域移行については、人材派遣ということで、将来の子どもたちということになります。それから、後半の施設に関しては、全ての市民に関わる大事な議論になります。またご意見いただければと思います。ありがとうございました。

#### 4 その他

・スポーツ推進審議会(第3回)について

#### 5 閉 会 吉田副会長